

NEWS RELEASE



2027横浜
国際園芸博覧会

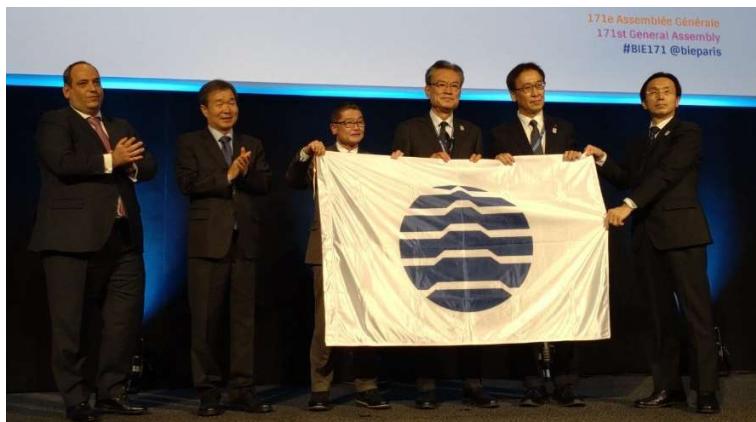
2022年11月29日

一般社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

2027年国際園芸博覧会が、 国際条約に基づく国際博覧会（最上位A1の国際園芸博覧会） として認定されました

2027年国際園芸博覧会が、11月28日（月）にフランス・パリで開催された第171回BIE（博覧会国際事務局）総会において、国際条約に基づく国際博覧会として認定されました。

総会では、斎藤鉄夫国土交通大臣（国際園芸博覧会担当）、山中竹春横浜市長のビデオメッセージに続き、当協会河村正人事務総長が、博覧会の準備の状況についてプレゼンテーションを行いました。その後、BIE旗引渡しセレモニーがあり、日本国政府・横浜市・協会の代表がBIE旗を受け取りました。



旗の引き渡しセレモニーの様子

河村事務総長によるプレゼンテーションの様子

（左から：ケルケンツェスBIE事務局長、
崔BIE総会議長、林国土交通審議官、河村事務総長、
小池技監（横浜市）、五十嵐大臣官房審議官（国土交通省））

【河村正人事務総長コメント】

この度、本博覧会が国際条約に基づく国際博覧会（最上位A1の国際園芸博覧会）としてBIEの認定を受けました。セレモニーにてBIE旗を受け取り、改めて身が引き締まる思いです。

今後、本博覧会の基本計画を発表し、その後、日本国政府と共に各国や国際機関への参加招請活動が開始されます。

世界中の皆様に期待していただける博覧会を開催するべく、引き続き関係する皆様のご支援・ご協力をいただき、協会一丸となって準備を進めてまいります。

参考資料 2022年11月29日（火）国土交通省・農林水産省同時発表

2027年国際園芸博覧会 国際条約に基づく国際博覧会として認定されました
～斎藤大臣が博覧会の意義を世界に発信～

本件に関するお問合せ先

一般社団法人 2027年国際園芸博覧会協会
広報国際部国際課（担当：山下） Tel : 045-307-2032
ホームページ : <https://expo2027yokohama.or.jp/>

同時発表：農林水産省

令和4年11月29日

都市局参事官(国際園芸博覧会担当)

2027年国際園芸博覧会 国際条約に基づく国際博覧会として認定されました ～斎藤大臣が博覧会の意義を世界に発信～

- 11月28日（月）にフランス・パリで第171回BIE（博覧会国際事務局）総会が開催され、2027年国際園芸博覧会が国際条約に基づく国際博覧会として認定されました。
- BIE総会では斎藤鉄夫国土交通大臣（国際園芸博覧会担当）が、博覧会の開催国政府として、本博覧会の意義や万全の準備を進めていくこと等について、ビデオメッセージを通じ世界各国に発信しました。
- 今後、本博覧会の成功に向け、各国や国際機関への参加招請活動も進めてまいります。

1 第171回BIE総会について

概要：国際博覧会の登録又は認定等を行う権限を有するBIEの最高機関

開催場所：BIE本部（フランス・パリ）

開催期間：2022年11月28日（月）～11月29日（火）

2 斎藤鉄夫国土交通大臣（国際園芸博覧会担当）からのビデオメッセージ

BIE総会では、斎藤鉄夫国土交通大臣（国際園芸博覧会担当）から、主に以下の内容をビデオメッセージにより発信しました。

- 本博覧会の開催を通じ、社会経済活動の基盤である植物資源の重要性を共有するとともに、自然環境が持つ多様な機能を暮らしにいかす知恵や文化を再評価し、持続可能な社会の形成に活用する取組を、世界に向けて発信していくこと
- 開催者の博覧会協会、開催地である神奈川県横浜市、経済界等と連携し、万全の準備を進めていくこと



本博覧会の意義や開催に向けた決意をビデオメッセージを通じ世界各国に発信する斎藤大臣

3 添付資料

① 2027年国際園芸博覧会の概要

② 2027年国際園芸博覧会の認定に対するBIE事務局長のコメント

【問い合わせ先】

国土交通省 都市局 参事官（国際園芸博覧会担当）付 石川、望月

電話：03-5253-8111（内線32972, 32976）、03-5253-8134（直通）、FAX：03-5253-1593

2027年国際園芸博覧会の概要

- 2027年国際園芸博覧会は、「幸せを創る明日の風景」をテーマに、花や緑との関わりを通じ、自然と共生した持続可能で幸福感が深まる社会の創造を目的として開催。
- 本博覧会では、多様な屋内外の展示、コンペティション、行催事等を通じて、以下に取り組む。
 - 花・緑・農に関連した最新技術の国内外での共有による、SDGsの達成やグリーン社会の実現の推進
 - 国内の優れた花きの魅力や、日本庭園・いけばな等の文化の発信を通じた、花き園芸産業・造園業等の発展への貢献
 - 花の名所や様々な庭園をはじめとする観光資源との全国的な連携を通じた、観光振興

開催概要

位置付け：最上位の国際園芸博覧会（A1）
※我が国では1990年の大阪花の万博以来の開催

開催場所：旧上瀬谷通信施設の一部（約100ha）
(横浜市旭区・瀬谷区)

開催期間：2027年3月19日～9月26日
(6か月間)

参加者数：1,500万人（ICT活用等の多様な参加形態含む）
※大阪花の万博では約2,300万人が来場

会場建設費：約320億円

テーマ：幸せを創る明日の風景
～Scenery of the Future for Happiness～

開催主体：一般社団法人
2027年国際園芸博覧会協会
※園芸博法に基づき国が指定

開催場所・会場イメージ



相鉄線「瀬谷駅」から北に2km



2027年国際園芸博覧会の認定に対する
ディミトリ・ケルケンツェス BIE事務局長のコメント

“Horticultural Expos play an important role in supporting and showcasing green solutions to the challenges facing people and the planet. Expo 2027 Yokohama, by gathering countries from around the world, will highlight not only the vital role of nature for humanity and for generating happiness, but also the importance of repairing, restoring and maintaining it for future generations.”

(仮訳)

園芸博覧会は、人と地球が直面する課題へのグリーンな解決手段を支持・紹介する重要な役割を担っています。2027年国際園芸博覧会は、世界各国が集うことで、自然が人類や、幸福感の創出にとって重要な役割を担っていることを強調するだけでなく、将来世代のために自然を修復、保全及び維持する重要性を強調します。